



援農状況

Let's Activate Area AGRI

8月の援農は、2288時間（内15.5時間は無償研修）、援農参加者は72人、受け入れ農家は15軒でした。今年度累計は12092.5時間です。作業内容は、ブルーベリーの収穫と、食用桑の収穫（この二つは、昨年より大幅に、収穫量・出荷量が増えました）、夏野菜の手入れや収穫、草取り、草刈り、きゅうり定植、などです。桑の収穫に行くといろいろな動物に出会います。青ガエル、天蚕、かまきり、毛虫、シャクトリムシ、はち、せみ（ぬけがらも）、蚊、鳥のヒナもいました。今年の夏も暑く、熱中症にならない様に、農家も市民会員も会も注意を払いました。

今年も猛暑の中、すずしろ22の皆様には収穫の件ではお世話になり心より感謝申し上げます。熱中症でお困りになられた方や蜂の被害に合われた方はいらしたでしょうか。収穫量は計画14.3Tに対し14.8Tと計画以上の結果となりました。これもすずしろ22の皆様のご協力があったことです。今後ともよろしくお願い申し上げます。食用桑の創輝(株)岩重さんより。

イベント情報

- ① 10/26(土)すずしろまつり（子供キャンプ場、雨天時 元八王子市民センター）
- ② 11/9(土)~10(日) JA 農業祭出店（富士森公園）
- ③ 12/6(金)旬菜会料理教室（川口市民センター調理室）

援農体験記

久保山町 長嶋 実

私はすずしろに入会してから4年くらい経ちますが、当初、援農に行く度に新鮮な出会いというか、感動がありました。それは、今までに感じたことのないものでした。そもそも、私の現役時代の職業は、コンピュータソフトの開発やら運用など、事務作業ばかりで、毎日の人間関係の難しさ、仕事の内容の煩雑さ、加えて仕事を得るための営業活動や、新技術の勉強などストレスの多いものでした。

年齢も50代の終わりになってから、いよいよ人生の後半を迎えるに当たり、自分自身に問いかけてみました、すると身近な植物や草花にとっても興味をもっている自分に気づいたのでした。そう、自宅の庭を使って、まずは、自分でできることをやってみようと考え家庭菜園をはじめることになりました。そうこうしているうち、だんだんやるからには、成果を伴う方がいいと思い、野菜などを育てるための勉強をはじめることになりました。そこで知り合ったのが「すずしろ22」でした。すずしろに入会してから援農に行くようになり、自然のダイナミックさ、美しさ、農作業のおもしろさ、奥深さなど、たくさんの感動があります。

理事会・分科会だより

第9回理事会開催 9月11日(水)18時~21時
(台町市民センターにて。理事7名・監事2名出席)

- ・今年度通期損益の用途について
- ・手当（交通費）支給規定について
- ・富所農園の1区画、研修農場化について
- ・イベント計画

第3回IT&広報分科会開催 9月10日(火)13時~16時
(由井市民センターにて。理事2名、会員2名出席)

- ・ホームページの刷新について

新しく入会された方々

北川佐代子さん（打越町）、小林俊子さん（長沼町）、
原田儀定さん・香澄さん父娘（八木町）

事務局より

- ・作業表の作業欄には、フルネームで記入してください。
- ・援農は有償ボランティアなので、農家から対価をいただいています。作業中のおしゃべりはほどほどにしましょう。
- ・遅刻はしないようにしましょう。やむなく遅れる場合は農家に連絡しましょう。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

小比企町 中西忠一

Q：これからつくる野菜は、いつ種まき（植え付け）をすればいいですか。

A：お正月に間に合わせて食べる為には、

ほうれん草10月10日頃 かぶ10月3日頃まで。

おでんや煮物に美味しい「お袋大根」は9月20日頃までにまく。

小松菜10月20日までにまくとお正月に間に合う。

※ 秋の日は一日が1週間。少しでもずれると、収穫時期に大きく影響する

Q：野菜によって、肥料の種類や量は違うのでしょうか？

A：野菜によって、種類（割合）も量もまったく違う。例えば、トマトは肥料を多く入れない方が沢山実がなる。小松菜は、肥料をたっぷりやった方が良い。

質問者：肥料をたっぷりやった我が家のトマトは、だから、茎だけ太くて実が少ししか収穫できなかったんですね！（まとも 佐藤）

